資料－４

これまで頂いたご意見と対応（案）

		ご意見	対応（案）
1	稲村座長	・秋田をはじめとした風力発電は全国的に見ても目玉になり得るものと思われる。政府が推し進める脱炭素化にも関係するものであり、風力発電は東北の特徴的な取り組みとして取り扱っては如何か。	・東北ブロックの特徴において風力発電の記載をするとともに、将来像等において、風力発電等エネルギー一大拠点を目指す旨を記載しました。 ・また、小目標６－１は「再生可能エネルギー・新エネルギー等によるグリーン社会の実現」として、東北としての基軸が再生可能エネルギー・新エネルギーである旨を表現しました。
2	稲村座長	・各県や各分野で様々なビジョンや計画がある。それらの理念や主要な取り組みに留意した総合的な社会資本整備計画が望ましい。	・各種ビジョン等を収集しつつ、策定プロセスにおいて、各事業部局が入ったワーキンググループ、各県・仙台市・新潟市が入った実務担当者会議等を、ご指摘の視点での確認も関係者で行いながら作成しました。

		ご意見	対応（案）
3	稲村座長	・重点目標5のデジタル・トランスフォーメーション関係では、政府全体で推し進めているものであるので、既に東北で行われている具体事例などを示しつつ、東北においても活発化していく旨をしっかり表現すべきと思われる。	・将来像等において「デジタル化を駆使した担い手確保のモデルとして」の表現により、全国のモデルとなるべくデジタル化を推進する意思表示を行いました。 ・p8では、将来の人手不足への対応、担い手確保、インフラ老朽化、災害対策の観点からICT施工や維持管理面での取り組み進展を記載するとともに、成瀬ダムの先駆的な取り組みも記載しました。 ・小目標5－1は「東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」等によるデジタル化･スマート化」に変更し、東北色とプロジェクトによる活発姿勢を出しました。
4	横田理事長	・SDGsの取扱いをどのように書くのか。特に重点目標3の持続可能で暮らしやすい地域社会の実現では、人口減少や高齢化が予想以上に進んだ東北としては、その先行地域としてSDGsや持続可能という言葉をより意識すべき地域と思われる。	・はじめににおいて、SDGsの記載とともに、「持続可能で強靭な国土と質の高いインフラ整備」と、取り組む際の「包摂性」（誰一人残さない）や「参加型」（全員参加で取り組む）といった点を踏まえる旨を記載しました。 ・目指すべき姿等において、「人口減少・高齢化が進んだ東北であるからこそ、バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりを推進し、持続可能で暮らしやすい地域社会・地方創生を実現する」旨を記載しました。
5	佐野先生	・今冬の新潟での高速通行止め、宮城県大崎でのホワイトアウト多重事故などを踏まえて、雪国だからこその目標設定や書きぶり（取り組み）を充実すべきと思われる。	・社会情勢の変化において、気候変動の影響による気象災害の激甚化・頻発化としての降雨災害とともに、東北道のホワイトアウトの多重事故や高速道路の通行止め等が頻発している旨を記載しました。 ・小目標1－2「③冬期も含めた交通機能確保」では、関係機関の情報共有による広域迂回の設定や援護等を行う「情報連絡本部」の取り組みを記載し、小目標3－1では「雪の克服とバリアフリー～」として、雪の克服を特出しして、地域生活面でも雪対策を推進する旨を表現しました。

		ご意見	対応（案）
6	浜岡先生	・アフターコロナの状況や前回からの状況変化を踏まえての説明からは、適切に小目標を設定していると理解出来る一方で、前回計画のレビューをしたうえで、出来たこと、出来なかったこと、引き続き頑張らなくてはならないこと等の説明をすることも必要と思われる。	・第44回社整審計画部会（R2.4.30）において、第4次社重計画で目標を達成していない指標や、とりわけ相対的に評価が良くない重点目標についての説明がなされる等のフォローアップが実施されています。 ・一方で、次期計画は、第4次計画の延長線上として、計画策定後の状況変化を踏まえて、新しい視点を追加する旨の説明がなされ、今回は、自然災害の激甚化･多頻度化や国土強靱化の動き、インフラ老朽化、デジタル革命、グリーン化、（新型コロナウイルス感染症の拡大）等の変化から重点目標を設定し、東北版においても変化等を踏まえ小目標を設定しています。
7	浜岡先生	・SDGsをどう捉えるか。（広い範囲での考え方になるので、総括的に配慮する記載とあわせて、様々な取り組みにおいて、外向けにSDGsの取り組みとして謳っているものがあるので、その場合は個々での記載も必要となるかも知れない。検討してみて欲しい）	・はじめににおいて、SDGsの記載とともに、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラ整備」と、取り組む際の「包摂性」（誰一人残さない）や「参加型」（全員参加で取り組む）といった点を踏まえる旨を記載。SDGsは広範に係るものであり、社会資本整備重点計画の中長期的な目的や重点目標の設定に際しても、それを踏まえたものであるので、その全てに配慮している認識から、個々の目標や取り組みにおいてSDGsを記載することはしないこととしました。
8	浜岡先生	・自動運転について、先端的取り組みの受け皿として東北を書き込めると良いように思う。高齢化対策として、道の駅上小阿仁での自動運転実用化、その他道の駅での拠点化整備など、先頭を走るものもあり、東北として、自動運転レーンの受け皿も含めて自動運転促進を打ち出すことも検討して欲しい。	・小目標５－２「新技術の社会実装によるインフラの新価値の創造」において、道の駅での自動運転の取り組み等を掲載するとともに、「福島イノベーションコースト構想や産学官連携による自動運転技術の実用化に向けた取組」を取り組みメニューとして記載しました。

		ご意見	対応（案）
9	竹内先生	・重点目標5のデジタル・トランスフォーメーションについて、大学では、次代を担う観点と、土木のイメージ向上の観点から、近年はICTをテーマにセミナー等を開催しリクルートにも繋げている。東北は高齢化も進展しており、担い手不足も顕著な地域であると思われるので、ICTは積極的に推進するべく地域であると思われる。	・将来像等において、「デジタル化を駆使した担い手確保のモデルとして」の表現により、東北は全国のモデルとなるべくデジタル化を推進する意思表示を行いました。 ・将来の人手不足への対応、担い手確保、インフラ老朽化、災害対策の観点からICT施工や維持管理面での取り組みの進展を記載するとともに、成瀬ダムの先駆的な取り組みも記載しました。 ・小目標５－１は「東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」等によるデジタル化･スマート化」に変更し、東北色とプロジェクトによる活発姿勢を出しました。
10	林田領域長	・サプライチェーンの国内回帰等を強化・拡大していかなければならない。また、東京一極集中是正の受け皿づくりにもつながっていくが、東北地方のインフラの整備状況やエネルギーの他地域との優位性が重要であり、重点目標5、6の項目に対して優位性を示さなければいけないと思われる。	・小目標５－１は「東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」等によるデジタル化･スマート化」に変更し、東北色とプロジェクトによる活発姿勢を出しました。 ・小目標６－１は「再生可能エネルギー・新エネルギー等によるグリーン社会の実現」に変更し、特にエネルギー分野での活発な取組が行われている旨や、今後も一大拠点を目指す旨を記載し、ご指摘の優位性や姿勢を示しました。
11	林田領域長	・新たな計画を作成する際には、前回計画の棚卸しが必要と思われるが、どのように考えているのか。	・第44回社整審計画部会（R2.4.30）において、第4次社重計画で目標を達成していない指標や、とりわけ相対的に評価が良くない重点目標についての説明がなされる等のフォローアップが実施されています。 ・一方で、次期計画は、第4次計画の延長線上として、計画策定後の状況変化を踏まえて、新しい視点を追加する旨の説明がなされ、今回は、自然災害の激甚化･多頻度化や国土強靱化の動き、インフラ老朽化、デジタル革命、グリーン化、（新型コロナウイルス感染症の拡大）等の変化から重点目標を設定し、東北版においても変化等を踏まえ小目標を設定しています。